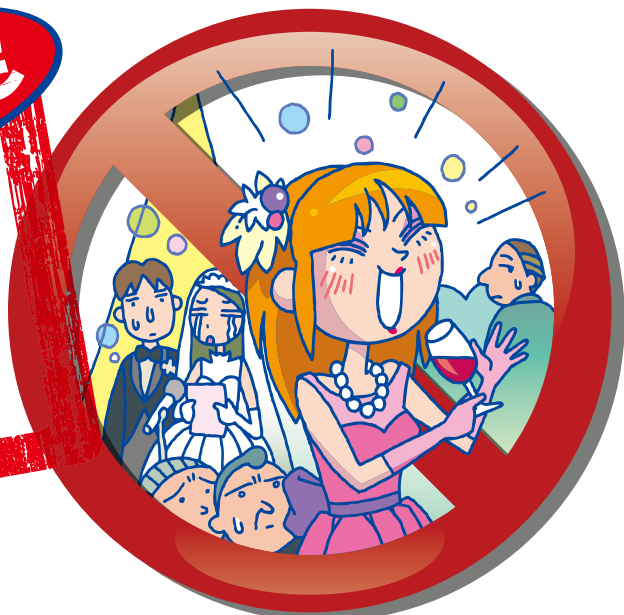


タイヤも

空気を
読まないのは
こんなに残念



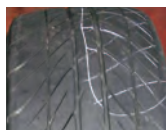
空気を読まないで行動すると、気づかいうちにトンデモナイ状態になっていたりするもの。タイヤの空気も同じ。空気を読まずに空気が不足した状態で走行すると、とっても残念。周囲の空気もタイヤの空気もしっかり読みましょう！



AIR OK? 空気圧が不足した状態で走ると...

燃費やタイヤの寿命が悪化

空気圧不足は燃費の悪化を招きます。また、路面に接している部分の動きが大きくなるため、摩擦が進み、タイヤ寿命が低下します。



空気圧不足のまま走行し、トレッドゴムとブレーキやカーカスとブレーキがはがれた状態。

スタッドレスタイヤユーザーは特に注意！

シーズンオフの保管中にも空気圧は自然に低下していきます。履き替え時には、空気圧をしっかり点検しましょう。特にスタッドレスタイヤは夏タイヤと比べゴムが柔らかいので、空気圧が低い状態ではとりわけ両肩摩擦が進みやすく注意が必要です。



空気圧が不足していると、タイヤトレッド面の両肩部に無理がかかる



両肩摩擦の進んだスタッドレスタイヤ

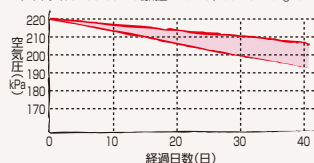
月に一度は空気圧点検を行い、適正空気圧に調整しましょう！！

豆知識

乗用車タイヤの空気圧低下状況

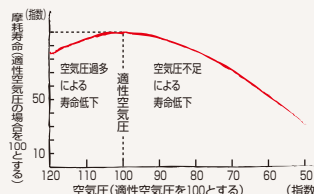
空気圧は1ヶ月で5~10%も自然に低下してしまいます。

※タイヤサイズ:195/65R15初期圧:220kPa(100kPa=1.0kgf/cm²)



空気圧不適正による寿命の低下

空気圧が高すぎても低すぎてもタイヤの寿命は低下します。



空気圧をチェックしよう！



1 クルマの指定空気圧を確認

タイヤの種類やサイズが同じでも、クルマによって空気圧は異なります。最適な空気圧はカーメーカーがクルマ毎に決めており、それを「指定空気圧」と呼んでいます。運転席ドア開口部など目立つところに記載されています。

正しい空気圧点検で安心ドライブ

タイヤ空気圧 (kPa/kg/cm ²)	
タイヤサイズ	前・後輪
195/65R15 91S	230 [2.3]
応急用タイヤ	
T135/90D16 101M	420 [4.2]
28700	NM

2 チューブレスバルブもチェック

空気圧の気密を守るチューブレスバルブもゴム製品なので、次第に劣化し、空気漏れの原因になります。タイヤ交換時に、チューブレスバルブも一緒に交換することをお勧めします。

